

視察・研修報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 増田 誠宏

下記のとおり、視察・研修が終了したので報告します。

会派代表者氏名 掛田 勝彦

経理責任者氏名 増田 誠宏

期 間	令和7年5月 9（金）
用 務 先	三次市役所（オンライン）
用 務	地方政策と議会改革を学ぶ研修会** 「官民連携の最前線と、議選監査の役割と活用法」
概要及び所見 （目的、参考 にすべき事 項、提言、活用 策等）	【対応者】 ローカル・マニフェスト推進連盟 一般社団法人マニフェスト研究会 株式会社良品計画 無印良品 銀座 総店長 東京都町田市 政策経営部デジタル戦略室長 岐阜県可児市議会議員 東京都あきる野市議会議員 大正大学 地域創生学部公共政策学科教授 【概要】 ●官民連携による新たな公共施設運営モデル 岐阜県可児市では、無印良品と連携し、商業施設内に市立図書館を設置する全国初の取組が紹介された。図書館機能を生活導線に組み込むことで、市民の利便性向上と新たな交流拠点づくりを実現し、公共施設運営における民間ノウハウ活用の可能性が示された。地域商社設立を含め、官民が連携しながら地域課題解決とまちづくりを進める姿勢は、今後の自治体運営において重要な視点である。

●外部連携を活用した自治体 DX の推進

東京都町田市の事例では、クラウド化の先行導入、生成 AI の行政活用、メタバースやアバターを活用した採用広報など、民間との積極的な連携による先進的な DX 推進が紹介された。行政内部のみで完結せず、外部人材や民間事業者とのオープンイノベーションによって課題解決を図る姿勢は、地方自治体においても柔軟な政策形成の重要性を示している。

●議選監査の本来の役割と活用法

議選監査については、形式的になりがちな現状が指摘される一方、可児市やあきる野市では、現場確認や組織内リスクの把握を重視した実践的な監査が行われていることが紹介された。議選監査委員は単なる役職ではなく、行政監視機能を高める重要な存在であり、その知見を議会活動へ還元することで議会全体の政策監視能力向上にもつながる。

●議会改革と自治の質向上への示唆

今回の研修全体を通じ、官民連携、DX、監査制度のいずれにおいても、制度を形式的に維持するだけでなく、地域課題解決に向け主体的かつ実践的に活用する姿勢の重要性が示された。地方議会においても、監視機能に加え、政策形成や制度改善への積極的な関与が求められており、議会改革を進める上で多くの示唆を得る機会となった。

【所見】

今回の研修では、官民連携や DX の先進事例に加え、議選監査という自身の立場にも直結するテーマについて、非常に実践的な学びを得ることができた。特に、議選監査は単なる役職ではなく、行政のリスク管理や議会機能の強化に資する重要な役割を担うことを改めて認識した。地方自治法の改正により、議選監査委員の設置は必須ではなくなったが、議選監査委員が監査を通じて得た知見を議会活動に生かすことは、議会全体にとって極めて大きな意義があり、議選監査委員の廃止は慎重であるべきと考える。

また、今回の研修で紹介された東京都あきる野市の事例では、学校などの現場にも直接赴き、実態を把握した上で監査を行う姿勢が示されており、形式的な書類確認にとどまらない監査の重要性を強く感じた。今後は三次市においても、必要に応じて現場確認を重視した監査のあり方を検討していく必要がある。

三次市においても、監査委員としての役割をより実効性のあるものとするためには、事務局の人的体制には限りがあるものの、その中で工夫と改善を重ねながら、監査機能の充実強化を図っていく必要がある。